

# ゴール13：気候変動に具体的な対策を

令和4年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

不動産の活用による環境にやさしくリーズナブルリフォームを実現する再生家(サイセイヤ) 事業～不動産となった建築資材等を有効活用することで、環境保全とCo2排出の削減、そして、空き家増加による治安の不安定化の抑制という社会課題を解決します!～



## プレゼンターからの一言

当社は、職人直営・施工専門の工務店です。1898年の創業以来、「安全」「健康」「快適」をスローガンとして、ご依頼主様のお住いをよりよくすることだけを考え、施工して参りました。再生家事業は、当社独自の仕組みで、環境問題やまちづくりなどの面の社会課題・地域課題解決に向けて役立つものと自負しています。この再生事業を始めて1年半以上になりますが、まだまだ周りからの認知度が低くこの機会に企業様や世の中の方達にこういった環境問題に取り組んだ事業者がいるという事を認知して頂きました業種は違えど同じような志を持った方々が増えて皆で社会貢献に繋がれるようになれば幸いです。

企業名	株式会社カクタニ工務店		
所在地	大阪府豊中市	資本金	500万円
設立	2011年1月	従業員数	6名
企業URL	<a href="https://kakutani.jp/">https://kakutani.jp/</a>		
事業内容	宅住宅からマンションなどの集合住宅などの一般住宅のリフォーム、ハウスメーカーからの下請け業務、店舗内装・外装建築・リフォーム		

### 解決したい社会課題・地域課題の背景や内容

- 工事などで残った資材は廃棄処分され、焼却によるCo2排出の原因となっている。
- 「空き家」の増加によって治安が不安定化している。

### SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響

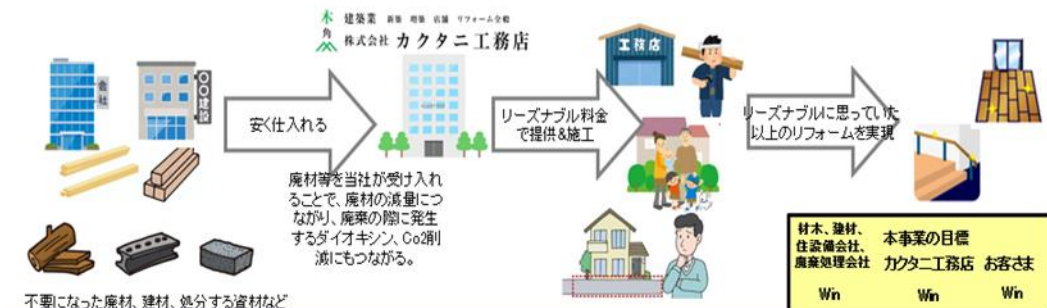
- 廃棄される資材を空き家リフォームに再活用することで、建築業界やお客様（施主）とWinWinの関係を築きながら環境保全とCo2の削減に貢献する。
- まちの中の治安問題の社会課題・地域課題の解決する。

### SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル

#### 「再生家(サイセイヤ) 事業」

不要になった建築資材等を仕入れ、それを工務店等をはじめ、エンドユーザーや不動産投資家・物件大家、などに安価で提供することで、廃棄される建築資材等を有効活用するとともに、新築やリフォーム等を、リーズナブルな費用で実現する。

#### 【再生家事業の全体像】



## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

当社は、職人直営・施工専門の工務店です。

1898年の創業以来、「安全」「健康」「快適」をスローガンとして、ご依頼主様のお住いをよりよくすることだけを考え、施工して参りました。

お客様目線でご提案をさせて頂き、当たり前な事を当たり前にする事で、皆様からの信頼を頂いております。

再生家事業は、当社独自の仕組みで、環境問題やまちづくりなどの面の社会課題・地域課題解決に向けて役立つものと自負しています。

今後も、常に最新の建築動向を学びながら、かつ社会課題・地域課題解決に向けた取り組み邁進して参ります。

# インクから始まる印刷でSDGs



## プレゼンターからの一言

名刺からでも、SDGsを推進できます。

企業名	都インキ株式会社		
所在地	大阪市鶴見区	資本金	3,000万円
設立	1965年9月	従業員数	48名
企業URL	https://www.miyakoink.co.jp		
事業内容	印刷用インクの製造販売		

解決したい社会課題・地域課題の背景や内容	SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響
インクの焼却廃棄によりCO2が排出されている。	不動インクからサステナブルブラックインクを製造することで、廃棄される資源を有効活用し、CO2の削減に貢献する。

## SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル

- 得意先の輪転印刷会社から不動在庫のインクを安価で買取。  
※通常なら産廃業者にお金を払って引き取ってもらい、その後焼却廃棄。この時インク1tあたりCO2約2.17t排出される。
- 買取したインクとバージン原材料とでサステナブルブラックインクを製造する。
- 印刷発注クライアントからサステナブルブラックインク使用した印刷物の発注を印刷会社にする。
- サステナブルブラックインクを印刷会社に納品。

## 製品・サービスの特徴・強み、導入実績

- 削減されたCO2の半分ずつをインクを提供してくれた印刷会社とインクを購入してくれた印刷会社に活動証明書を年に1回発行。
- サステナブルブラックインクのロゴも用意してありますので印刷物がサステナブルブラックインクで印刷していることが確認できる。
- 第11回堺ユースサッカーフェスティバルの大会プログラムや神戸の私立高校の校内紙のインクに採用済！



## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

当社のお客様もリモートで観ておられ繋がる事が出来ました。  
お陰様で当社インクでSDGsに貢献出来たと喜んで頂いております。  
ありがとうございました。

## 植物由来レザー



## プレゼンターからの一言

私たちは、食品ロスのアップサイクリング、動物虐待の防止、地球温暖化の防止など自然環境や社会へ配慮をビジョンに活動する、大阪を拠点とするB2Bスタートアップ企業です。その試みとして、通常では捨てられるジュース工場の果物の皮で新しい種類の革を作りました。ピールラボのレザーは、ヴィーガンでかつ持続可能、自然由来の素材からエシカルな製造過程を経て生産されます。皮革の代替品であるだけでなく、地球に影響を与える廃棄物、排出物、その他の汚染物質を削減することで、自然環境や社会へ貢献しています。

企業名	PEEL Lab 株式会社		
所在地	大阪府中央区	資本金	200万円
設立	2022年2月	従業員数	6人
企業URL	<a href="https://www.peel-lab.com/ja">https://www.peel-lab.com/ja</a>		
事業内容	果物の革をアップサイクルして、安価、軽量、耐水性と耐久性に優れた植物由来レザーの製造		

## 解決したい社会課題・地域課題の背景や内容

- レザー産業では毎年5,000万以上の動物が革製品を作るために犠牲になっている。
- はぎ取られた動物の皮の80%ほどが廃棄される。
- 伝統的なレザーは二酸化炭素を排出量が多い。

## SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響

- 同社のヴィーガンレザーは、**二酸化炭素の排出量が少なく、脱炭素社会の実現に貢献できる。**
- 非常に環境に優しく、地球温暖化の抑止、食品廃棄ロスの抑制、と動物へ虐待回避に貢献できる。

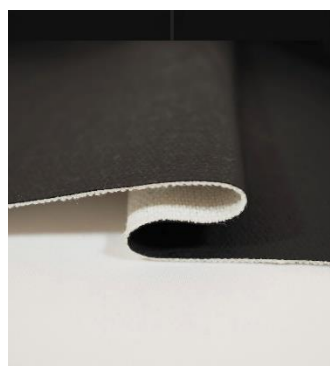
## SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル、導入実績

- B2Bのビジネスモデルを採用し、現在は革を様々なビジネス（自動車内装、ファッション、家具など）に販売
- **タイの家具屋、タイの文房具屋、大阪の靴屋へ販売実績あり。**
- 今後、市場調査を行い、安定した収益が見込めるようになれば、他の植物原料を使った革の製造も行き、アジアの他の地域へも展開していく予定



## 製品・サービスの特徴・強み

- **優れた品質**  
軽く、耐水性と耐久性に優れており、ファッションから自動車や船のインテリアまで様々な用途に適している。
- **低価格**
- **環境への優しさ**  
商品における植物由来原料の含有量は約40%⇔競合は約5%  
1㎡を作るにあたり、たったの4kgしか二酸化炭素を排出しない  
⇔競合の排出量は107kg



## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

日本だけでなく、東南アジアでの家具、医療用ベッド、スポーツ産業への拡大を目指しています。日本とタイに続き、ベトナムに3番目のオフィスを開設する予定です。その他のアプリケーションとコラボレーションについては、Instagram: [pearl.lab](https://www.instagram.com/pearl.lab) をチェックしてください。

光触媒の環境浄化機能によるサステナブルな社会の実現を目指す。



### プレゼンターからの一言

・コロナ禍を経験する事で、感染症対策が意識されるようになりました。  
光触媒は環境浄化技術であり、様々な環境の問題に対して自然のエネルギーで解決するものです。  
また、カーボンニュートラルを目指す世の中においても、本技術を利用して安心して暮らせる環境を目指したいと考えております。

<b>企業名</b>	株式会社 J P コーポレーション		
<b>所在地</b>	大阪市西区	<b>資本金</b>	300万円
<b>設立</b>	2010年8月	<b>従業員数</b>	
<b>企業URL</b>	<a href="https://jp-corpo.net">https://jp-corpo.net</a>		
<b>事業内容</b>	光触媒材料の販売、光触媒材料を利用した工事の請負い、光触媒に関するコンサルティング		

<b>解決したい社会課題・地域課題の背景や内容</b>	<b>SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症・慢性疾患</li> <li>● 環境汚染</li> </ul>	<p>【光触媒の効果を利用して社会課題を解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 抗菌・抗ウイルス、VOC除去効果により安心・安全な住環境を提供できる。</li> <li>● 防汚効果により太陽光発電の発電効率低下リスクを減らす事で再生エネルギー問題に貢献できる。</li> </ul>

<b>SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 光触媒フィルターによる感染症対策・慢性疾患対策。</li> <li>● 光触媒フィルターによる低濃度VOCの除去。</li> <li>● 建材一体型のペロブスカイト型太陽光電池の汚れ防止による発電効率低下リスクの抑制。</li> </ul>

<b>製品・サービスの特徴・強み、導入実績</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新規性</b> 光触媒と紫外線（UV-A、UV-C等）光源のコラボレーション。 建材一体型のペロブスカイト型太陽光電池における防汚対策。</li> <li>● <b>競争優位性</b> 既に各方面と研究開発を進めている。</li> <li>● <b>成長性</b> 光触媒は環境浄化技術であり、自然エネルギーで持続的に効果を発揮する点で、カーボンニュートラルを世界が目指す状況において成長性は高い。 ※酸化チタン光触媒を発見した藤嶋教授は本年もノーベル化学賞候補となっている。</li> </ul>

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

### 【今後の方向性について】

・光触媒にしか出来ない、または光触媒に優位性があるという部分について、ご賛同頂ける企業様とタッグを組み、様々な事業を立ち上げて参ります。

また、国内はもとより、既に海外企業との話もスタートしております。

光触媒は日本発の技術という事もあり、業界団体と共に盛り上げて参りたいと考えております。